

ガバナーメッセージ

原点を忘れずに挑戦

～入りて学び、出でて奉仕せよを実践しよう～

国際ロータリー第2590地区 ガバナー

轟 淳次



新年、明けましておめでとうございます。会員各位様に於かれましては輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。年度前半は、公式訪問、地区大会を中心に多大なるご協力を頂きまして感謝申し上げます。2019～20年度改革の年として更なる会員増強・向上に努めて参りますので、より一層のご支援、お引立てを賜りますようお願い申し上げます。更なる勝負の年となる後半も、ロータリアンが一丸となって力を合わせて前進していきましょう。

皆様のご健康とご多幸をお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。

さて、1月は「職業奉仕月間」です。ロータリーの目的は、日々の仕事を通して世の中に貢献するために奉仕の心を育て向上させることです。奉仕とは他人のために何かをすること、他人のニーズを充たすことを自己の責務として行なうことです。ロータリーの目的は、職業を通して社会のいろいろなニーズを満たすこと、ということになります。職業奉仕とは、職業を通して社会のニーズをほぼ完全な形で満たせるよう努力を重ねることです、支援を必要とする人たちが自らの力で生活を立てていけるよう支援するため、多彩な職業の知識とスキルを活用し自己の職業の品位と道德水準を高め、社会から尊重される存在になることが求められます。

お話しは変わりますが、令和元年12月1日に、DLPの一環で本年度新設した地区奉仕委員会（職業・社会・国際奉仕担当）企画による『旧東海道クリーン・ウォーク』が、実施されました。川崎班はJR川崎駅前を午後1時過ぎに出発し、旧東海道沿いを西に向かい街道筋のゴミを拾いながら旧東海道の面影を学びながら訪ね歩きました。最初に川崎信用金庫本店広場前の阪神タイガースの球団歌

「六甲おろし」作詞

家佐藤染之助の石碑を見学し、小土呂橋跡・川崎宿入口・芭蕉の句碑・無縁塚・夫婦橋・鶴見熊野神社・鶴見市場の一里塚・金剛寺にて小休止、鶴見橋関門旧跡碑・鶴見神社・鶴見区文化センターにて小休止、魚河岸通り・道念・稲荷神社・生麦事件現場・生麦事件碑、目的地キリンビール横浜工場午後16時15分着、全行程6.5KM

横浜班は、横浜発⇒旧東海道沿いを街道筋のゴミを拾いながら東に向かい、初めに神奈川宿（田中屋・一里塚・洲崎大神・石井本陣跡・良泉寺・江戸方見附跡・長延寺）神奈川新町駅・生麦事件碑、目的地キリンビール横浜工場午後16時15分着、全行程6.2KM。

到着後川崎班と横浜班は合同で写真撮影と解散式を行い、その後、参加者有志で行事打ち上げをキリンビアホールで行いました。晴天に恵まれ、なかなか楽しい企画となりました。

「温故知新という言葉が有る様に、その土地の歴史を探求する事で地域の特徴を再発見する事が出来る、即ち、ロータリアンの根幹として、古くからの伝えを大切に新しい知識を得て行く事が出来れば、人を教える師と成る事が出来るでしょう」

